



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成28年01月04日 第749号「週刊五十嵐レポート」

## 廃業の決断

昨年末に読者からメール配信停止の申込がありました。

「いつもお世話になっております。株式会社 のAです。突然のご報告で申し訳ありませんが、弊社は今年いっぱいをもって廃業とさせていただきます。これまで色々とお世話になりました、御礼申し上げます。

来年からはメールサーバも閉じますので、郵便物と併せて、お送りを止めていただきますようお願いいたします。本当にありがとうございました。宜しくお願いいたします。」

株式会社 を経営していたA氏の父親が急死したのが5年前。その後、子息であるA氏が会社を承継しましたが、今回廃業という形で会社を閉めることになりました。理由を訊いてみると、「父の時代から特定企業1社に売上の大半を占めていました。得意先を分散しようと顧客を開拓する努力をしましたが、特定企業1社の割合は変わりませんでした。そうこうしているうちに特定企業1社の業績が悪化し、当社は受注減となり、このままでは会社は立ち行かなくなると思われました。今年の8月に入り、廃業を決断。その後は5人の従業員に対して就職先を斡旋して再就職ができるようにしました。自分も次に行く宛が決まりました。今だったら債権者、皆様にご迷惑をかけないですむと判断し、廃業の手続きをしてきました」

勇気ある決断でした。ずるずる引っ張って決断を先延ばしする人がいます。結局、廃業ができず、債権者に迷惑をかける倒産にいたるケースがあります。撤退する勇気、切り捨てる勇気。そして新たな明日への展開する第一歩。

ランチェスター「営業戦略」DVDテキストに、「長く経営していると、業界のライフサイクルの変化、競争相手の出現、販売先業界の変化、社会の変化、さらに法律の改正などで、売上が構造的に低下することがある」とあります。

営業ルートや業界・客層を変えたり、営業方法を変えざるを得なくなります。このとき必要なのは、「情報」です。常にアンテナを張り巡らすことです。

ちょっと  
気になる出来事

12月31日、「海難1890」を観てきました。

1890年に日本で起きたトルコ軍艦の事故「エルトゥールル号海難事故」で和歌山県紀伊大島の村民たちは、総出で救出活動を行ないました。生存者69名、死亡・行方不明500名以上。日本人の見返りを求めない真心がトルコ人の心に深く刻み込まれました。

95年後の1985年、イラン・イラク戦争。テヘランの日本人がとり残されました。日航も自衛隊も飛行機を飛ばすことをしませんでした。日本国がテヘランの日本人を見捨てようとしたときに、トルコが救援の飛行機を飛ばすことになり、無事に救出されたという話です。

「情けは人のためならず」

この話は、10年程前にはじめて聞きました。本来ならば、子どものときに学校で学ぶ話ではないかと思えます。まだまだ日本人のすばらしい話を私は知りません。



一口メモ  
知識

## メッセージの内容

コミュニケーターは、望ましい反応を生み出すような広告訴求やテーマを作らなければならない。第1は「機能訴求」であり、これは受け手にベネフィットを提供することを訴求するものである。製品の質、経済性、価値または性能を示すメッセージがその例である。

第2は「情緒訴求」であり、製品購入を動機づける否定的または肯定的な感情をかきたてることを意図するものである。コミュニケーターは、不安、罪悪感、羞恥心に訴えて、やったほうがよいこと（歯磨き、古いタイヤの交換など）を始めさせたり、やらないほうがよいこと（喫煙、飲み過ぎ、食べ過ぎなど）をやめさせたりするための働きかけを行なう。

第3は「倫理訴求」であり、受け手に何が正しく適切であるかという考えを持たせるために導入する。それは人々に環境美化、人種関係の改善、男女同権、恵まれない人々への援助のような社会活動に対する協力を促すメッセージでよく使われる。

フィリップ・コトラー、ゲイリー・アームストロング「新版 マーケティング原理」より

「町コン経営塾」小岩校 毎週日曜日 午前10時～12時

「町コン経営塾」小岩校 土日集中講座 HP参照

「町コン経営塾」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

